

SCB 海外 Special Report

信金中金～ニューヨーク・ニュースレター～

Vol.21” 米国のアニメ市場”



信金中央金庫
ニューヨーク駐在員事務所
SHINKIN CENTRAL BANK
New York Representative Office

2023年3月発行

日本のアニメが世界各国で知名度が高いことは、周知の事実かと思料されますが、米国においても例外ではありません。当地でもアニメ映画「鬼滅の刃」上弦集結、そして刀鍛冶の里へ」が今月 3 日一般公開されましたが、公開初週末の興行収入は米国・カナダで 1,000 万ドル(約 13 億 5000 万円)となっており、コロナ禍において記録的なヒットとなった前作「無限列車編」ほどではないものの、堅調な滑り出しとなっています。日本のアニメは、ハリウッド映画でも数多くのアニメ原作があるように当地でも非常に存在感があります。本稿では、米国におけるアニメ事情等について記載します。

1. 世界および米国におけるアニメ市場

Grand View Research 社の分析によると、2022 年における世界のアニメ市場の規模は 286 億ドルと見積もられており、2023 年から 2030 年にかけて年平均成長率 9.8%で成長すると予想されています。若い世代が最新のデバイス等への支出を増やしており、今後、人工知能(AI)、仮想現実(VR)、拡張現実(AR)、モノのインターネット(IoT)などの技術の進歩がアニメ市場の成長を促進する要因になると分析しています。

特に、米国市場は、2023 年から 2030 年までの年平均成長率が 16%以上と世界で最も成長する市場と予想されており、Netflix などの動画ストリーミングサービスが急速に浸透したことにより、アニメコンテンツの人気の高まっていることに加え、カリフォルニア州やノースカロライナ州など様々な都市でアニメの小売店が増加しており、アニメグッズの販売が増加していることが成長を支えていくと分析されています。

こちらは信用金庫とそのお取引先向けとさせていただきます。

ご覧になりたい場合は、お近くの信用金庫（検索は[こちら](#)）までご相談ください。

[続きを読む](#)